

従業員とともに歩むカシオ

会社と従業員がともに発展を続けていくため、快適に働けるよう基盤を整え、もてる力を発揮できる仕組みをつくっています。



平等な機会を提供

働く機会は皆平等であるべきという考えのもと、

雇用や進路選択などのあらゆる局面で、均等に機会を提供しています。

採用活動での機会均等

カシオは「カシオグループ倫理行動規範」の中で、性別・信条・宗教・人種・社会的身分や障害などを理由とした不当な差別を行わないこと、および児童労働や強制労働を一切行わないことを明記しています。グループ各社でこれを共有し、各地での採用活動の際にはこうした方針に則り、平等な雇用を促進しています。

自分の将来を描ける「キャリアチャレンジ制度」

カシオの「キャリアチャレンジ制度」は、従業員が自分の挑戦したい仕事を選ぶ仕組みです。自分の経験してきた仕事と、今もっているスキルを社内で登録し、希望の仕事を申告することができます。また、プロ野球のFA (Free Agent) 制度のように、一定期間同じ仕事を続けた従業員が、優先的に新しい仕事に挑める制度も設け、従業員が新たな経験を積むチャンスを提供しています。



従業員と家族を大切に

従業員が毎日気持ち良く働けるように、職場の環境を整えています。

また、従業員の家族とのつながりも大切にしています。

プロフェッショナルを育てる

従業員の能力は会社の最も大事な財産と考え、

プロフェッショナルな人材の育成活動に力を入れています。



エンジニアが現場で専門知識を体得

優れた商品企画のためには、ユーザーニーズを深く理解する必要があります。開発担当のエンジニアは、技術を追求するだけでなく、時にフィールドに飛び出し、製品が使われるシーンを自ら体験して、専門知識を深めています。例えば、登山者に使われるアウトドアウオッチ「PRO TREK」の開発者は、実際に山に出かけて岩壁や雪山に登り、過酷な環境の中で求められる性能や使い勝手とは何かを、自分の身で確かめます。

社会の先端動向を学べるセミナー

カシオの開発拠点である羽村技術センター（東京都）では、社外の方を講師に招いて、最先端の市場動向や技術動向を学ぶセミナーを開いています。興味をもった従業員は、自由に聴講を申し込むことができます。2010年はAR (拡張現実) や電子書籍、中国やインドの市場などのテーマで、セミナーが開催されました。

モノづくり技術者の育成

山形カシオでは、高い水準のモノづくりができる技術者を育てるため、製造技術の教育に力を入れています。プラスチック成型、金型製作、放電加工といった技能の国家資格の取得を奨励する制度を設けて資格者を増やし、レベルアップを続けています。熟練した技術者による社内の技能講習により、培った技術の伝承にも取り組んでいます。



母乳での育児を支援

従業員の90%を女性が占めるカシオタイでは、子供の健全な成長にとって大切な母乳を十分に確保できるよう、会社で働いている時間中でも母乳がとれる設備を社内に置いています。空気清浄機を備えて衛生的に保った室内に、自治体から支給された母乳用の保存バックを置き、冷蔵庫の中の専用スペースで保存できる仕組みです。専門のインストラクターも置いて、授乳方法や衛生的な母乳の保存方法も指導しています。カシオタイは、タイの厚生労働省が認定する「労使関係・福利厚生における優良企業賞」を2006年から5年連続で受賞しています。



オフィスで親子が一緒に学ぶ

カシオアメリカでは、従業員の子供がオフィスを訪れる「Take your kids to work day」を実施しています。8~12歳の年齢層を対象に、電卓の組み立てなどの体験学習を行い、親子がともに作業を通してつながりを深めることを目指しています。

従業員の交流をサポート



従業員同士の親睦を深めるための支援として、カシオアメリカでは「Holiday lunch」を実施しています。夏のバーベキューやクリスマスのデコレーションメニューなど、季節のイベントに合わせてふるまわれる、特別製の昼食です。